

いたばし子どもアンケート

調査報告書

2022年8月 国立成育医療研究センター

(調査実施： 板橋区教育委員会)

目次

第 I 章 調査の実施概要	1
1. 調査目的	1
2. 調査対象者	1
3. 調査内容	1
4. 調査実施方法.....	1
5. 調査実施時期.....	2
6. 回答数と回答率.....	2
第 II 章 単純集計結果	3
1. 基本情報	3
(1) 性別	3
(2) 同居家族.....	3
(3) 家族構成.....	4
(4) 母親の就労状況	5
(5) 父親の就労状況	5
(6) きょうだい数	6
(7) 主観的経済状況	6
2. 家族の世話（ヤングケアラー）	7
(1) 項目別の該当割合	8
(2) 該当項目数.....	8
3. ふだんの生活.....	9
4. いじめ.....	10
5. 抑うつ症状・自傷行為	11
6. 悩みや困りごと.....	13
7. 悩みや困りごとを話せる人.....	14
第 III 章 主な項目同士の関連	15
1. ヤングケアラー	15
(1) ふだんの生活の様子	15
(2) 抑うつ症状・自傷行為.....	16
(3) 悩みや困りごとを話せる人	17
2. 抑うつ症状	18
(1) ふだんの生活の様子	18

(2) 悩みや困りごとを話せる人	19
(3) 重度抑うつ症状、希死・自傷念慮、自傷行為の関連	20
資料	211

第 I 章 調査の実施概要

1. 調査目的

本調査は板橋区立小中学校に通学する児童・生徒の心の状態の実態把握を行い、学校での支援及び課題整理や支援体制向上の基礎とすることを目的に、板橋区教育委員会が実施した。

2. 調査対象者

① 小学生

板橋区の全公立小学校（51 校）に在籍している、普通級の小学 5 年生 3,791 人・小学 6 年生 3,695 人、特別支援学級の小学 5～6 年生 104 人、計 7,590 人を対象とした。

② 中学生

板橋区の公立中学校 22 校のうち、調査協力を得られた 21 校に在籍している、中学 1 年生 2,863 人・中学 2 年生 2,903 人・中学 3 年生 2,801 人、特別支援学級の中学 1～3 年生 134 人、計 8,701 人を対象とした。

3. 調査内容

以下の項目について尋ねた（報告書末尾〈資料〉）。答えたくない質問については答えなくてもよいことを、調査票の冒頭に明記した。

- ・基本情報： 学年・性別
- ・家庭の状況： 同居者、家のくらし（経済状況）
- ・ヤングケアラー： 日本ケアラー連盟による 10 項目を参考に作成した 6 項目について有無
- ・学校生活における支障： 欠席や遅刻、居眠りや忘れものなどの頻度
- ・クラスにおけるいじめの有無
- ・抑うつ症状： PHQ-A 尺度（直近 7 日間の抑うつ症状 9 項目の頻度）、自傷行為の頻度
- ・悩みや困りごと： 家族関係・友だち関係・勉強や成績に関する悩みや困りごとの頻度
- ・悩みや困りごとを話したり相談したりできる人の数

4. 調査実施方法

学校を通してクラスごとに教室で児童・生徒へ調査票を配布し、その場で回収した。回答済の調査票は、児童・生徒本人が封筒に入れて封をした状態で担任が回収し、学校で一括して提出した。調査票配布日に欠席した児童・生徒には別途担任を通して調査票を配布し、教室実施に準じて本人が封を

した状態で担任が回収し、学校で一括して提出した。匿名化した学校 ID・クラス ID により、各調査票の学校・クラスを識別した。調査実施前に、学校を通して保護者へ、調査について書面で説明を行った。調査実施後、リラククスワークや相談先リスト配布などをあわせて行った。

5. 調査実施時期

2021 年 12 月

6. 回答数と回答率

回収された調査票は、回答者、クラスおよび学校が特定できない状態で、国立成育医療研究センターが分析を行った。小学生 7,414 人（回答率 97.7%）、中学生 8,083 人（回答率 92.9%）、合計して 15,497 人（回答率 95.1%）から回答を得た。このうち、特別支援学級在籍児童・生徒は 156 人（回答率 65.5%）であった。

表 I-1 回答数と回答率

	回答数	回答率%
小学生		
普通級 小学 5 年生	3,712	97.9
普通級 小学 6 年生	3,611	97.7
特別支援学級	91	87.5
中学生		
普通級 中学 1 年生	2,705	94.5
普通級 中学 2 年生	2,726	93.9
普通級 中学 3 年生	2,587	92.4
特別支援学級	65	48.5
合計	15,497	95.1

7. 集計

回答結果をもとに、各質問項目の単純集計および主な項目同士のクロス集計を行った。割合は各々四捨五入しているため、和が 100.0 にならない場合がある。また、複数項目の和を求めるときは、四捨五入する前の数値の和から割合を計算し、得られた数値を四捨五入しているため、四捨五入後の値の和とは一致しない場合がある。

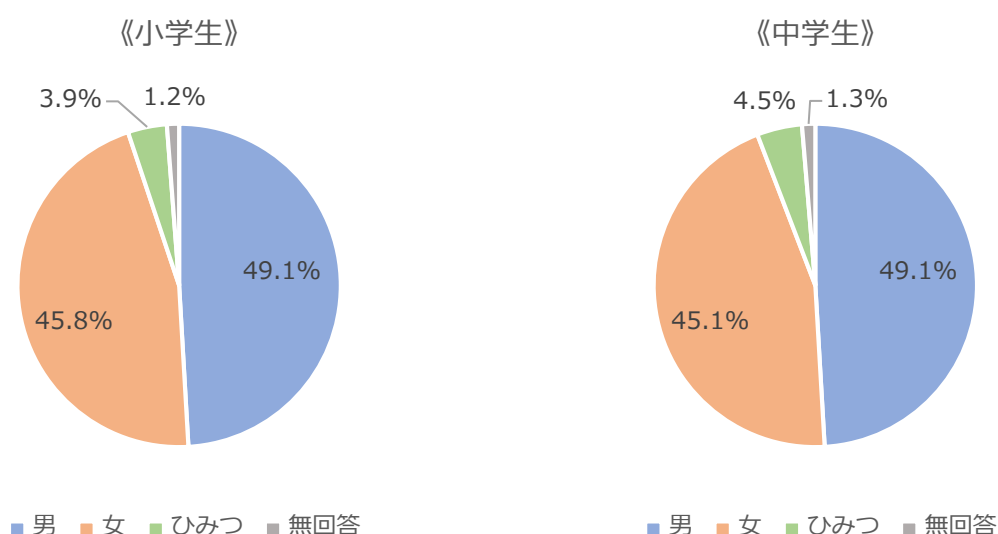
第 II 章 単純集計結果

1. 基本情報

(1) 性別

回答者の性別（回答者自己申告）は、以下の通り。

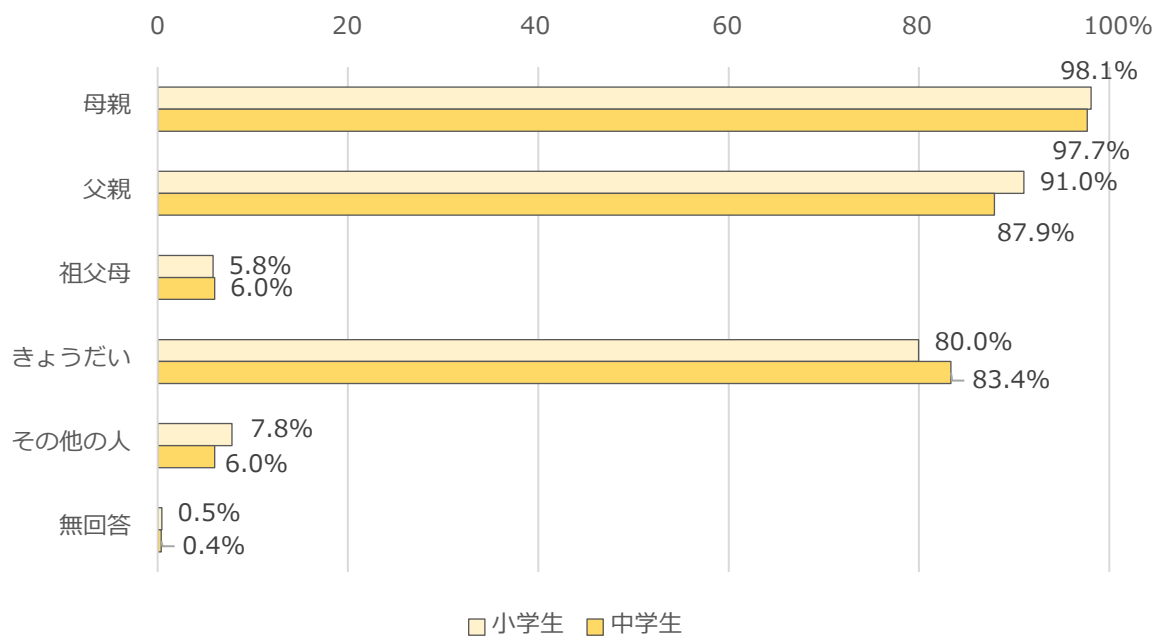
男女は概ね半数ずつであった。小学生の 3.9%、中学生の 4.5%が、「ひみつ」を選択した。



(2) 同居家族

同居家族（回答者自己申告、複数回答あり¹）は、以下の通り。

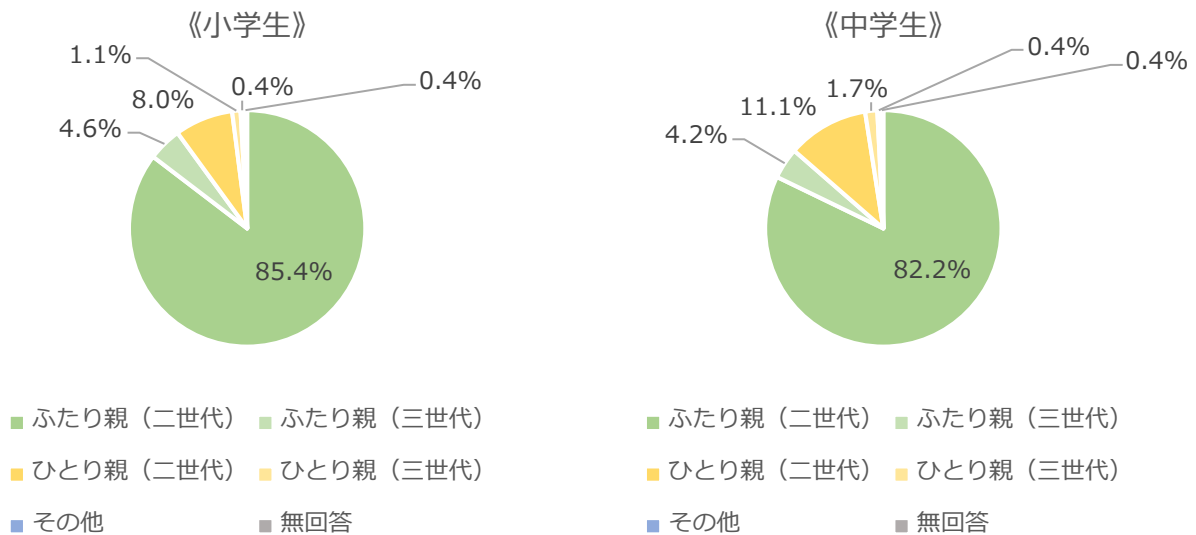
¹ 同居家族について、あてはまる番号すべてに○をつける形式で尋ねた。母親/父親については、その人の仕事の有無について回答があった場合は、同居者として番号に○がつけられていなくても同居しているものとみなした。祖父母については、同居の場合にその人数を尋ねる形としたが、人数記載のあったものをふくめると全体の 36%が該当し、過去の調査研究の結果と大きく乖離するため、ここでは祖父母の番号に○がついていた回答のみを祖父母との同居とみなした（同居していない祖父母の人数を記入しているケースが多く混ざっていると判断した）。きょうだい、その他の人については、祖父母と同様に同居の場合にその人数を尋ねる形としていたが、こちらについては、人数の記載があった場合は同居者として番号に○がつけられていなくても同居しているものとみなして集計した。また、同居者に関する回答が全くなかった場合は、この問い全体に関して無回答とみなした。



(3) 家族構成

回答者自己申告による同居家族に基づく家族構成²は、以下の通り。

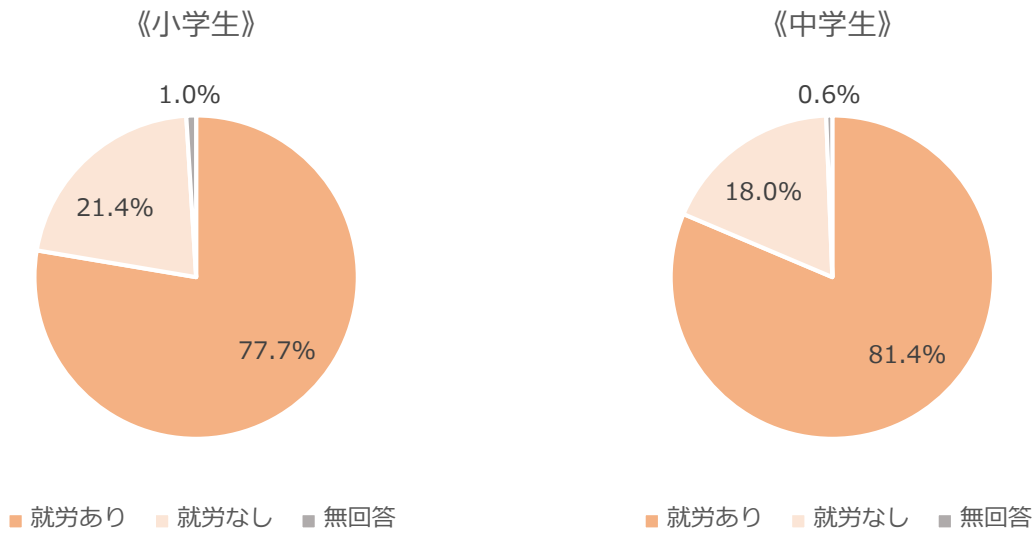
ひとり親家庭の割合は、小学生では9.1%、中学生では12.8%であった。



² ふたり親/ひとり親で、祖父母の同居がない場合を二世、祖父母の同居がある場合を三世と定義した。

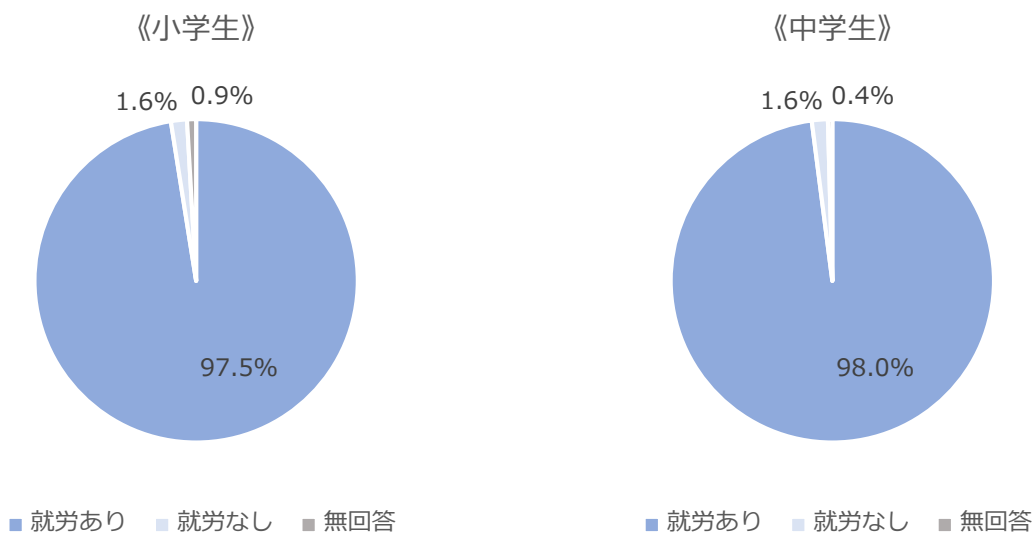
(4) 母親の就労状況

母親が同居している家庭における母親の就労状況（回答者自己申告³）は、以下の通り。
母親が就労している家庭の割合は、小学生では 77.7%、中学生では 81.4%であった。



(5) 父親の就労状況

父親が同居している家庭における父親の就労状況（回答者自己申告⁴）は、以下の通り。
父親が就労している家庭の割合は、小学生では 97.5%、中学生では 98.0%であった。



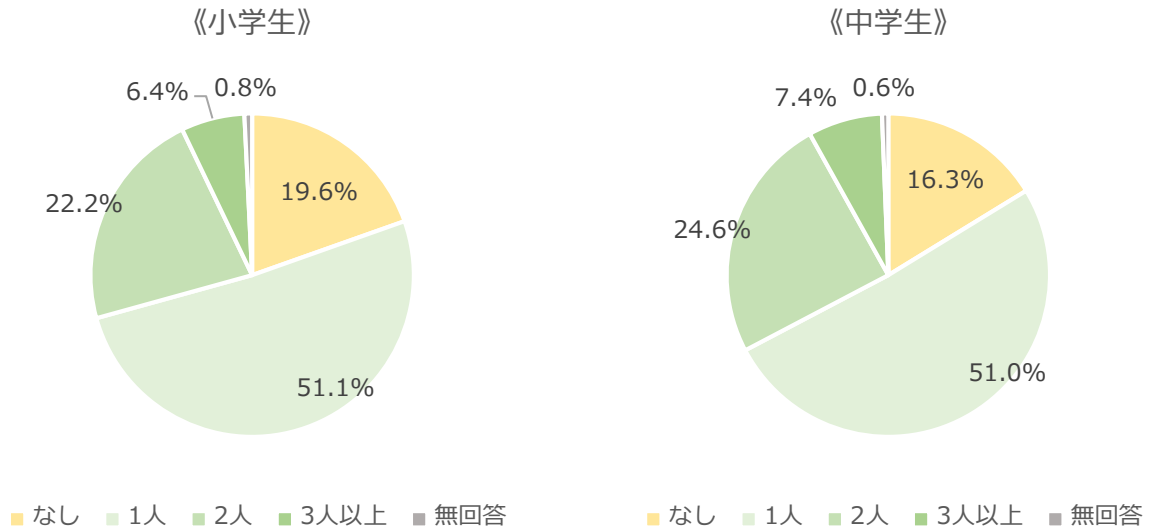
³ 専業主婦や休業中の場合は「働いていない（就労なし）」として回答されている。

⁴ 同上。

(6) きょうだい数

同居のきょうだい数（回答者自己申告⁵）は、以下の通り。

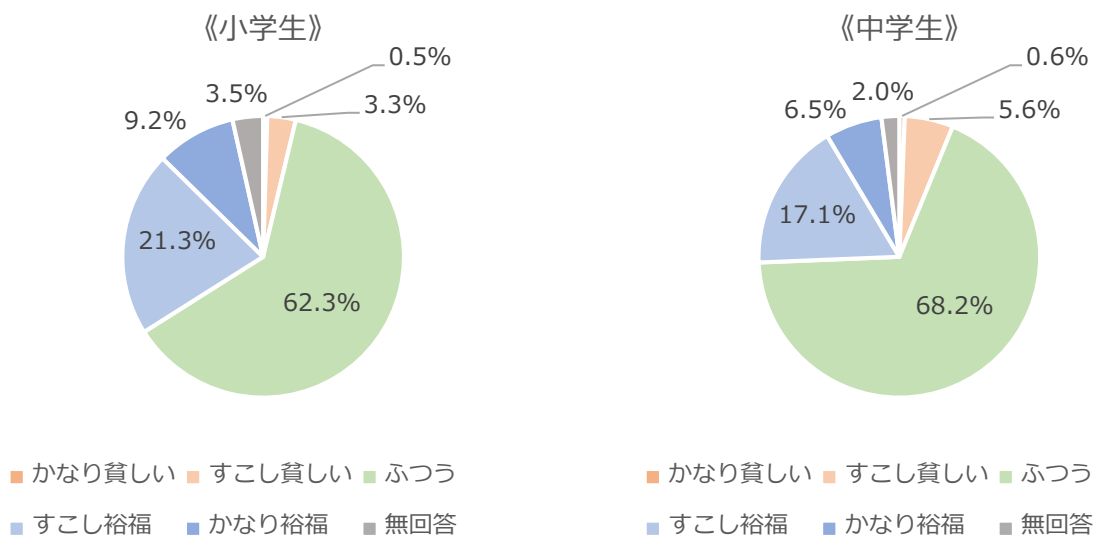
ひとりっ子の割合は、小学生では19.6%、中学生では16.3%であった。



(7) 主観的経済状況

主観的経済状況（回答者自己申告）は、以下の通り。

「かなり・すこし貧しい」家庭は、小学生では3.7%、中学生では6.2%であった。



⁵ 同居者としてきょうだいに○をつけたもので、年上のきょうだい数、年下のきょうだい数いずれにも記載のなかったものは、無回答に分類した。



2. 家族の世話（ヤングケアラー）

家族の世話（ヤングケアラー）への該当について、下の形式で尋ねた。

図 II-2-1 ヤングケアラーに関する質問

問4. 次の6項目のうち、あなたにあてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。

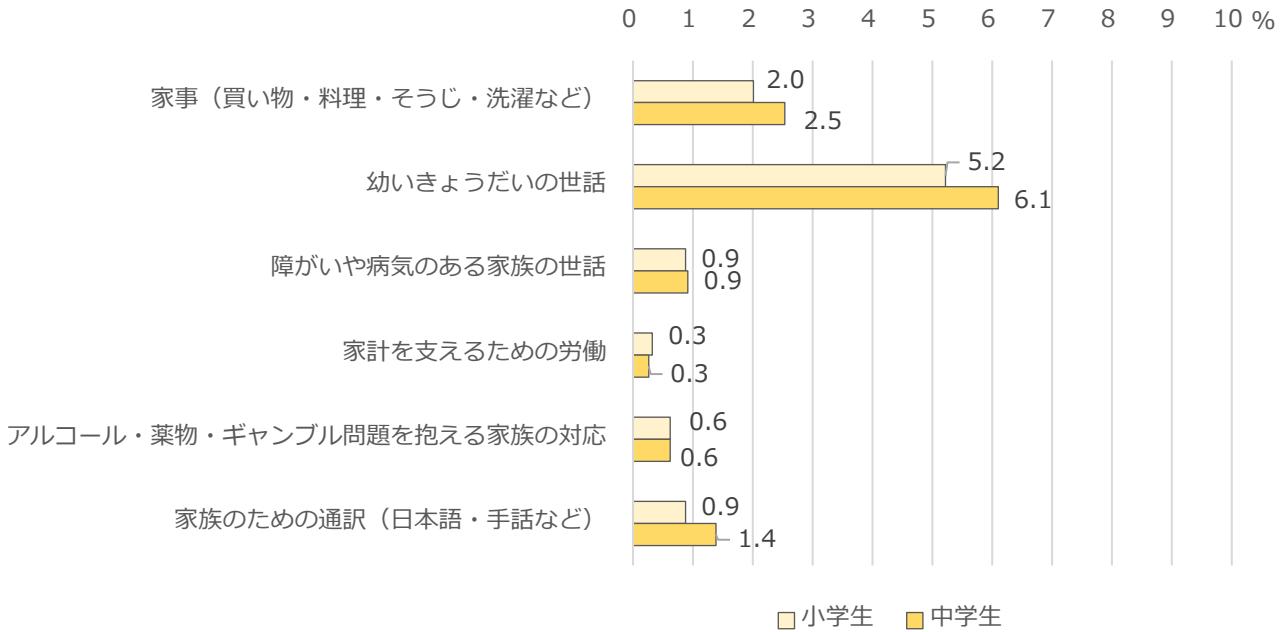
(©一般社団法人日本ケアラー連盟/illustration:izumi Shiga より一部抜粋)

		
<p>1 <small>しょう びょうき かぞく</small> 障がいや病気のある家族に <small>か もの りょうり</small> 代わり、買い物・料理・そう <small>せんたく かじ</small> じ・洗濯などの家事をしている</p>	<p>2 <small>かぞく か おきな</small> 家族に代わり、幼いきょうだい <small>せわ</small> の世話をしている</p>	<p>3 <small>しょう びょうき かぞく</small> 障がいや病気のある家族の <small>せわ</small> 世話をしている</p>
		
<p>4 <small>かけい ささ ろうどう</small> 家計を支えるために労働を <small>しょう びょうき</small> して、障がいや病気のある <small>かぞく たす</small> 家族を助けている</p>	<p>5 <small>やくぶつ</small> アルコール・薬物・ギャンブル <small>ちんだい かか かぞく たいおう</small> 問題を抱える家族に対応し ている</p>	<p>6 <small>にほんご だいいちげんご</small> 日本語が第一言語でない <small>かぞく しょう かぞく</small> 家族や障がいのある家族の <small>つうやく</small> ために通訳をしている</p>

(1) 項目別の該当割合

各項目の世話に該当すると回答した児童・生徒の割合は、以下の通り。

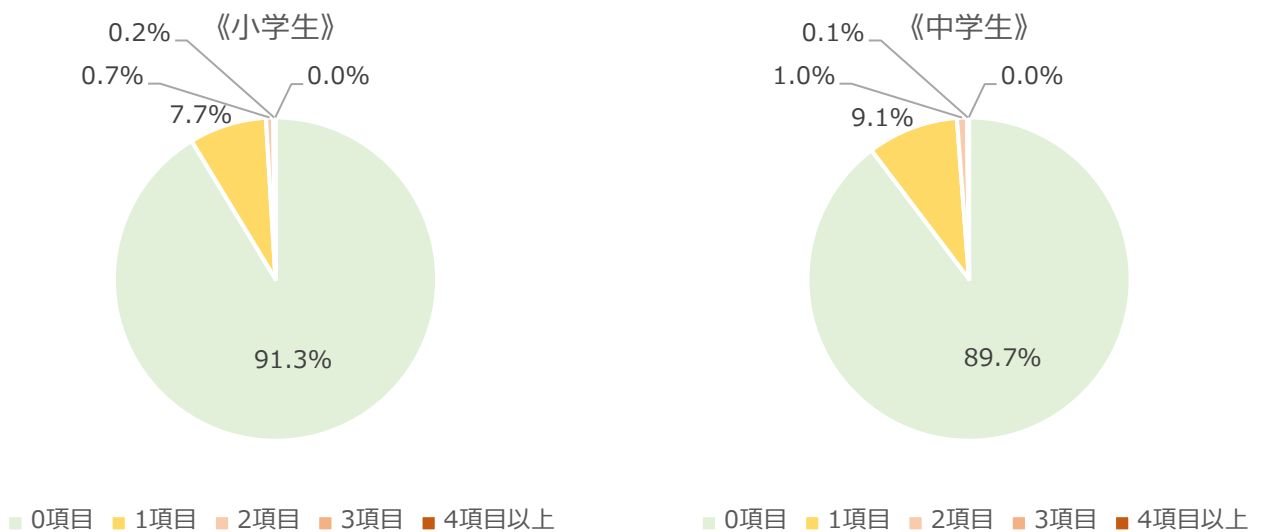
該当する児童・生徒がもっとも多かったのは、「家族に代わり、幼いきょうだいの世話をしている」で、小学生の5.2%、中学生の6.1%がこれに該当した。



(2) 該当項目数

該当した項目の数の内訳は、以下の通り。

小学生では8.7%、中学生では10.3%が、いずれか1項目以上に該当すると回答した。

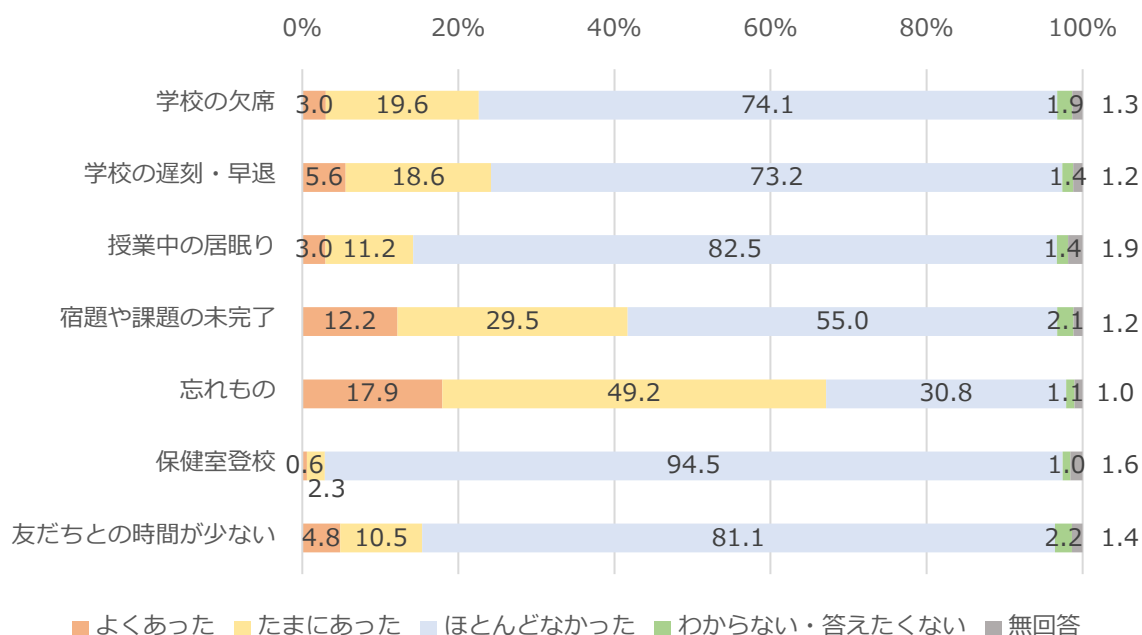


3. ふだんの生活

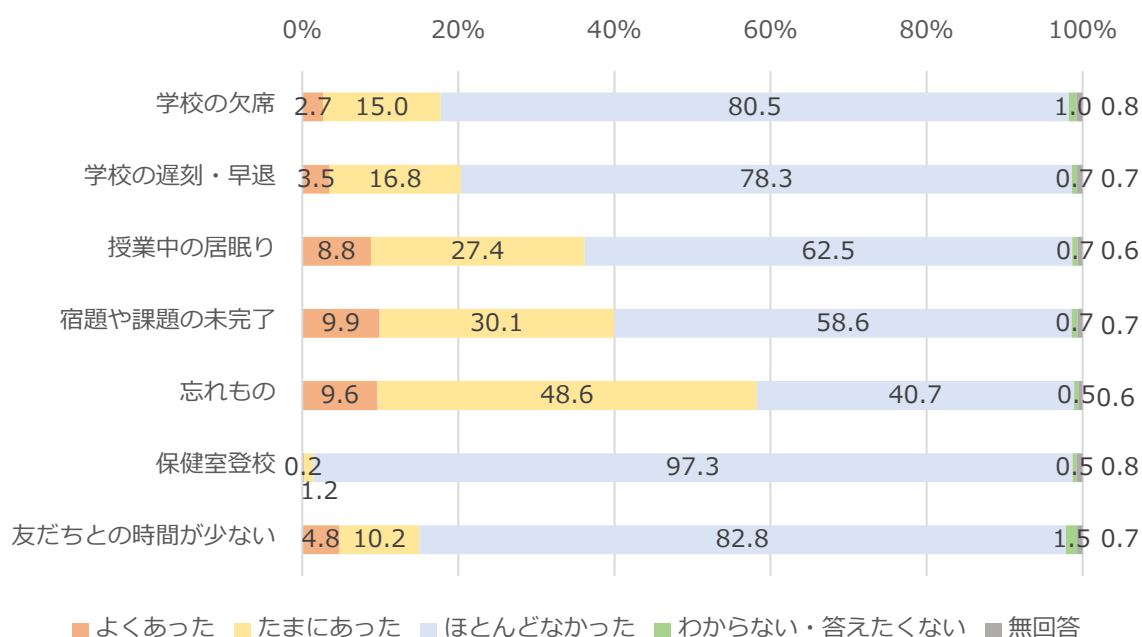
直近1か月間で、学校の欠席等の問題がどのくらいあてはまるかを尋ねた結果は以下の通り。

7項目のうち、「よく・たまにあった」に該当する児童・生徒がもっとも多かったのは「忘れものをした」で、小学生の67.1%、中学生の58.3%が該当した。

《小学生》

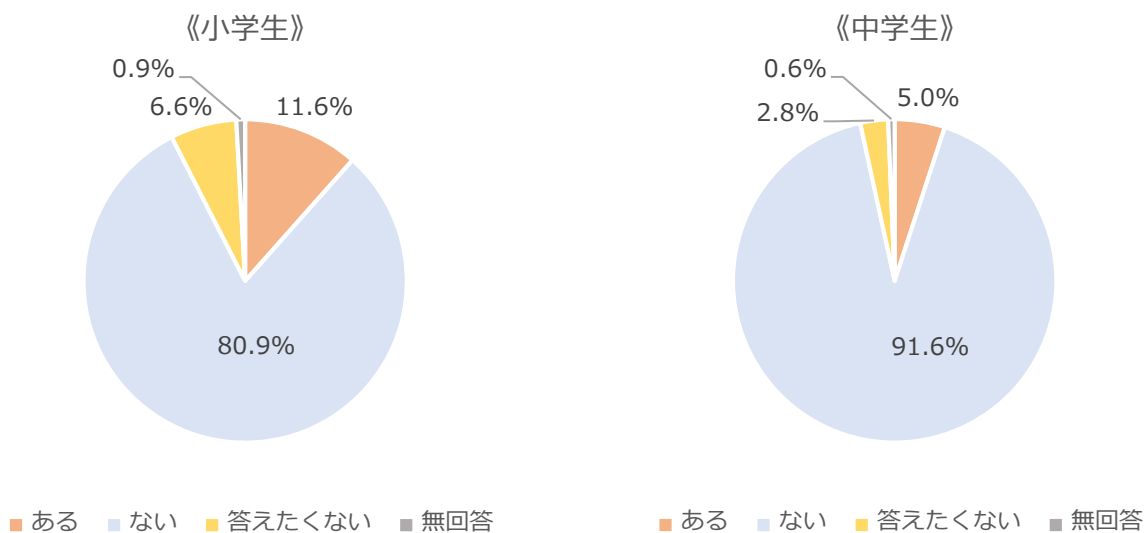


《中学生》



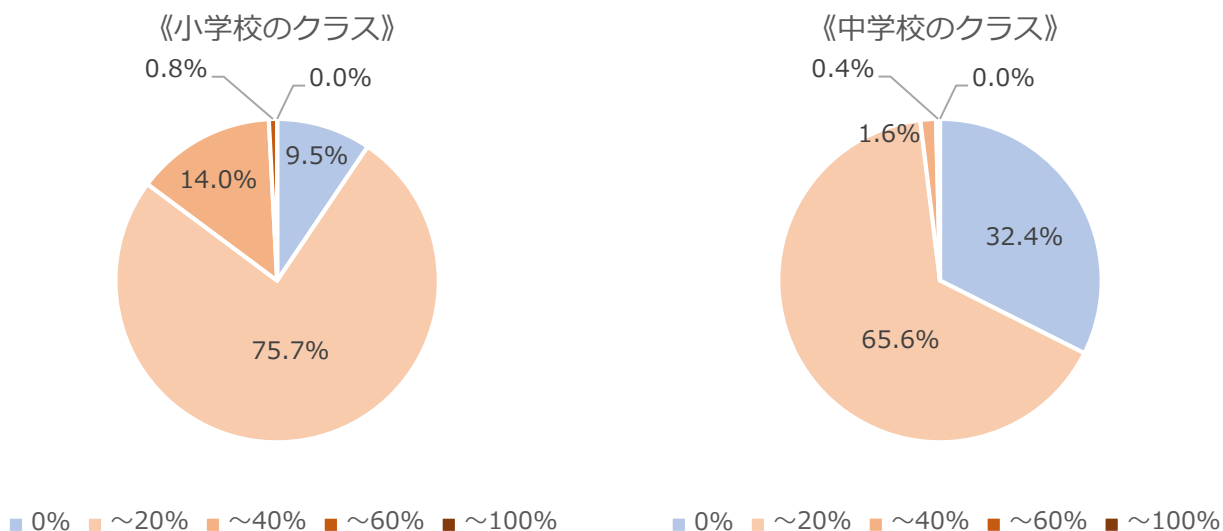
4. いじめ

「今のクラスで、誰かがいじめられているのを見たり聞いたりした、あるいは自分がいじめにあっていると感じたことがあるか」を尋ねた結果は、以下の通り。



また、調査対象となったクラスの単位で、「誰かがいじめられているのを見たり聞いたりした、あるいは自分がいじめにあっていると感じたことがあるか」という質問に対して「ある」と回答した児童・生徒の割合は、以下の通り。

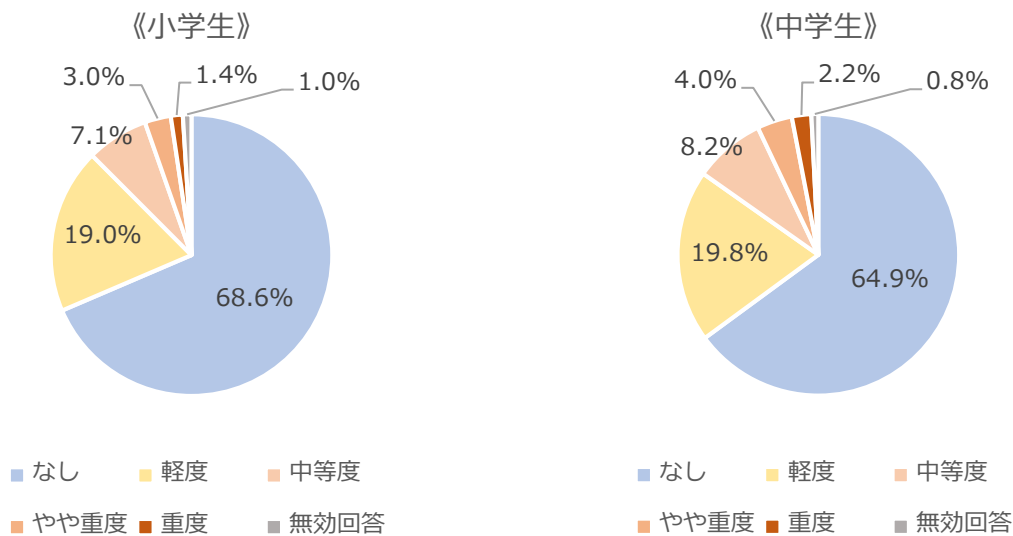
「ある」と回答した児童・生徒が一人もいなかったクラスは、小学校では9.5%、中学校では32.4%であった。20%以下が「ある」と回答したクラスは、各々75.7%、65.6%であった。



5. 抑うつ症状・自傷行為

日本語版 PHQ-A (Patient Health Questionnaire-9 modified for adolescents) 尺度⁶を用いて、抑うつ症状の重症度を評価した。回答者の抑うつ症状の重症度の結果は、以下の通り。

小学生の 11.5%、中学生の 14.4%が、中等度以上のうつ症状を有していると評価された。また、重度のうつ症状と評価されたのは、小学生では全体の 1.4%にあたる 102 名、中学生では全体の 2.2%にあたる 181 名であった。

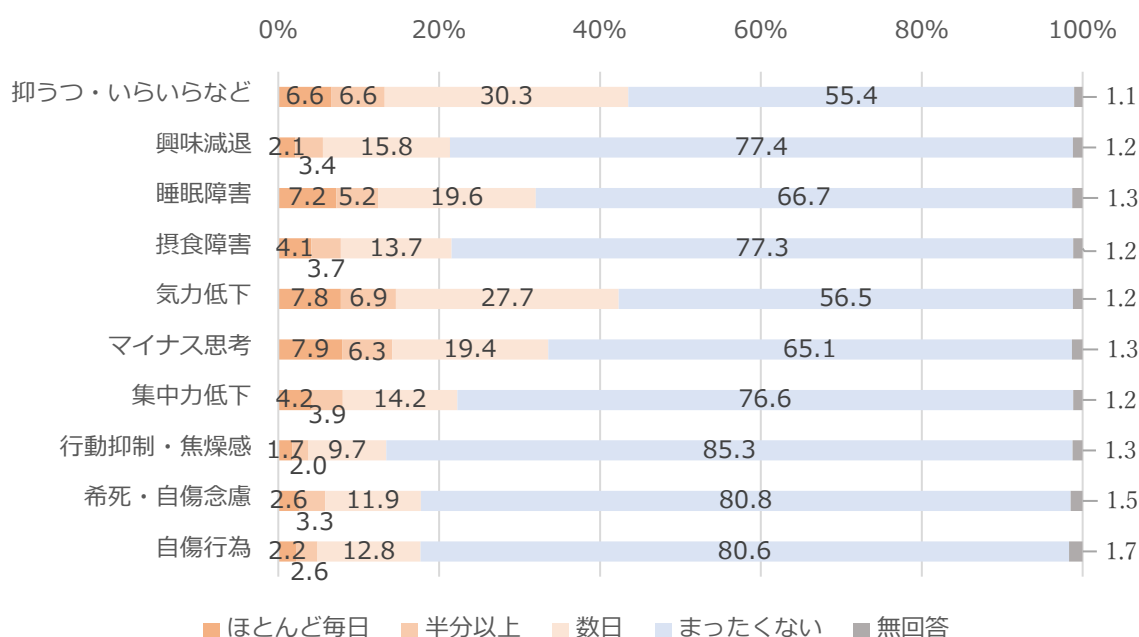


PHQ-A の 9 項目 ((1)~(9)) および自傷行為に関する項目 ((10)) の回答結果は以下の通り。

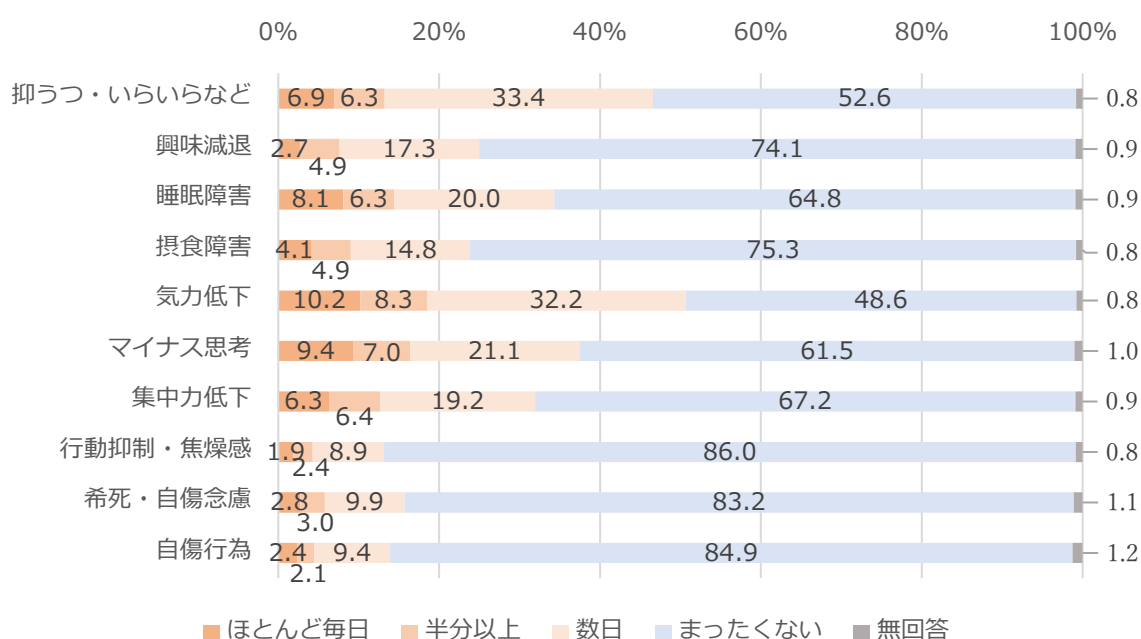
⁶ 精神疾患の診断・統計マニュアル (Diagnostic and Statistical Manual of Mental Disorders, DSM) におけるうつ病 (Major Depressive disorder) の診断基準 (Criteria A) に基づいて作成されたうつ病のスクリーニング尺度 PHQ-9 (Patient Health Questionnaire-9) を思春期の子どもたち向けに改訂して作られた尺度である。過去 7 日間について、「気分が落ちこむ、ゆううつになる、いらいらする、または絶望的な気持ちになる」など、9 項目の質問から構成される。各項目は、4 点スケール (0: 全くない、1: 数日、2: 半分以上、3: ほとんど毎日) で評価される。9 項目中 7 項目以上に有効回答がなされたものを評価対象とし、回答項目の得点の平均値に 9 をかけた数値を総合点とみなした。総合点の範囲は 0~27 点で、得点が高いほど抑うつ症状が重症であることを意味する。総合点に従い、0~4 点は「症状なし (no or minimal depression)」、5~9 点は「軽度 (mild depression)」、10~14 点は「中等度 (moderate depression)」、15~19 点は「やや重度 (moderately severe depression)」、20~27 点は「重度 (severe depression)」と評価される。

「数日・半分以上・ほとんど毎日」あると回答した児童・生徒がもっとも多かったのは、小学生では「気分が落ちこむ、ゆううつになる、いらいらする、または絶望的な気持ちになる（抑うつ・いらいら）」で、中学生では「疲れた感じがする、または気力がない（気力低下）」で、いずれも小中学生の40%以上が該当した。「実際に、自分の体を傷つけた（自傷行為）」が「ほとんど毎日」あてはまるのは、小学生の2.2%、中学生の2.4%であった。「半分以上」「数日」も含めると、直近一週間に自傷行為をした児童・生徒の割合は、小学生では17.7%、中学生では13.9%であった。

《小学生》



《中学生》

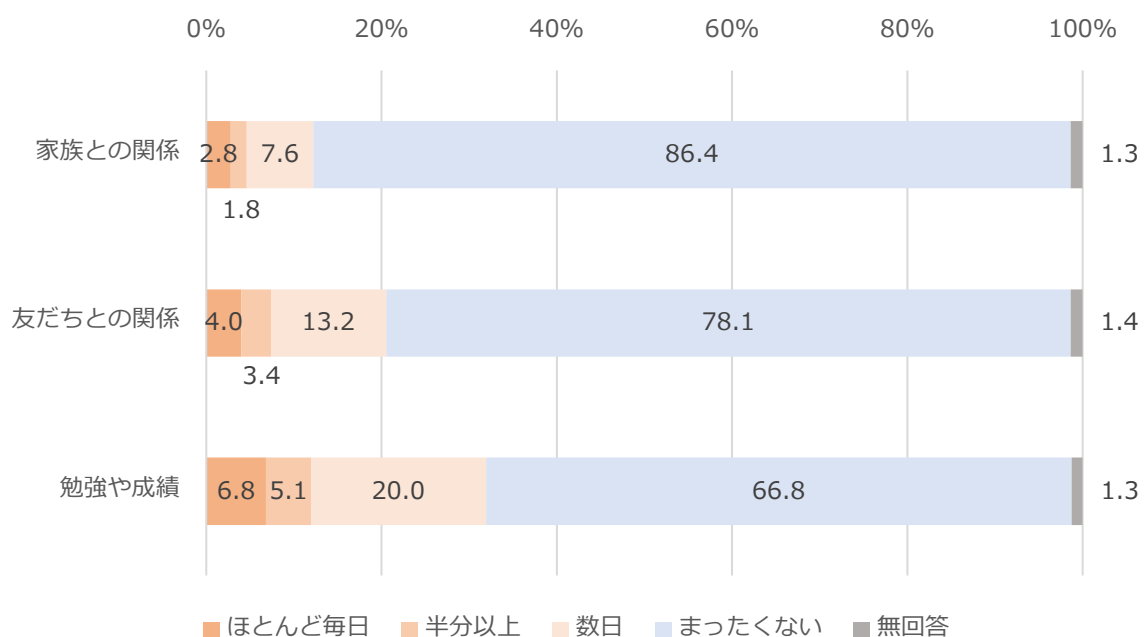


6. 悩みや困りごと

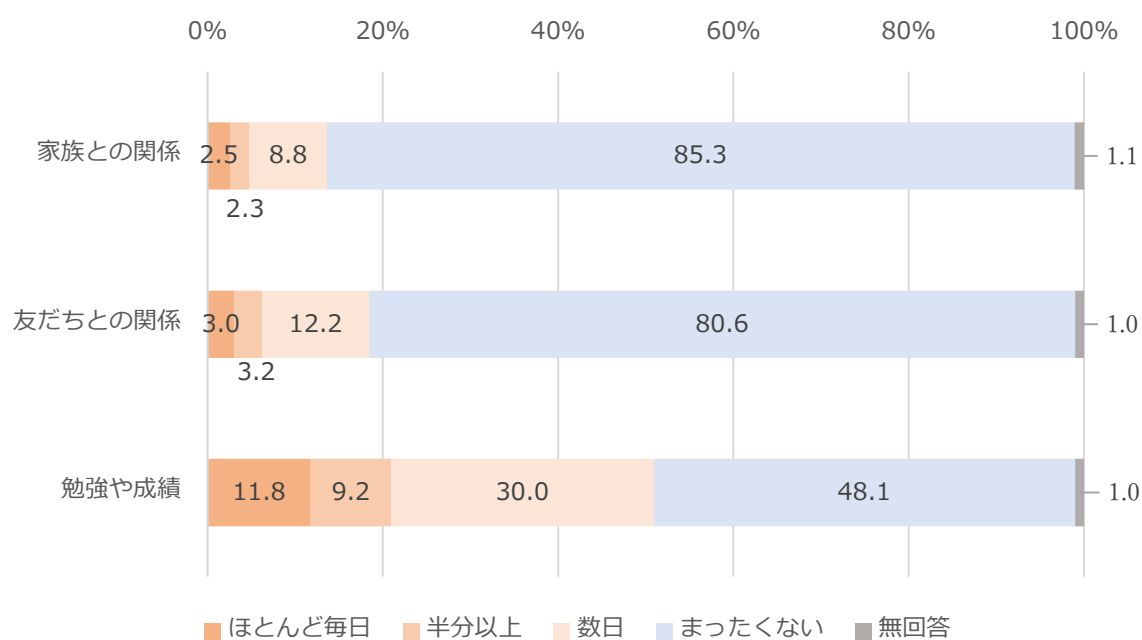
過去7日間について、家族との関係、友だちとの関係、勉強や成績、それぞれに関する悩みや困りごとにどのくらい頻繁に悩まされているかを尋ねた結果は以下の通り。

小学生の2.8%、中学生の2.5%が、家族との関係について「ほとんど毎日」悩んだり困ったりしていると回答した。友だちとの関係について同様に回答したのは、小学生の4.0%、中学生の3.0%であった。勉強や成績は、悩みや困りごとを抱えている児童・生徒がもっとも多かった。

《小学生》



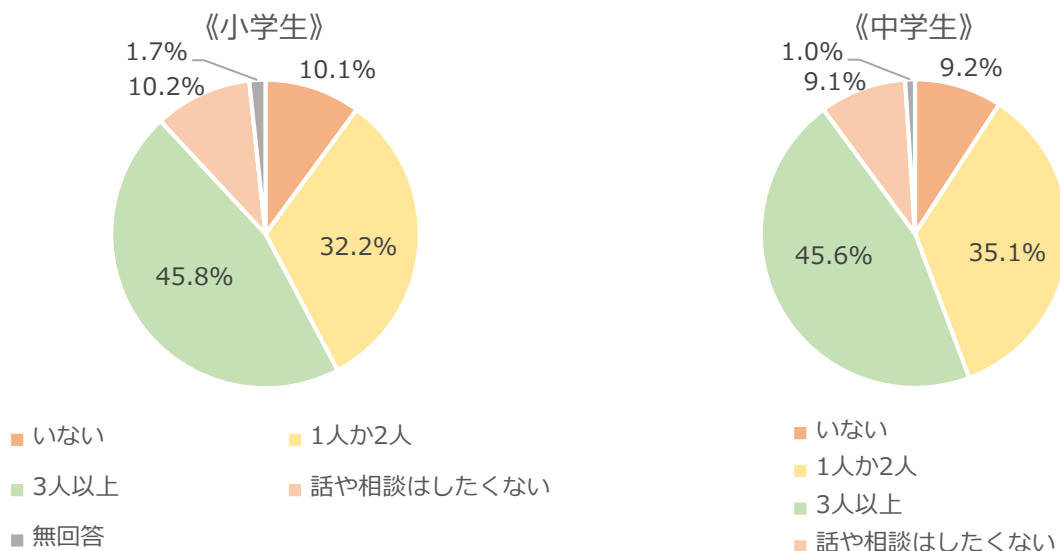
《中学生》



7. 悩みや困りごとを話せる人

悩みや困りごとについて話したり相談したりできる人の数についての回答結果は、以下の通り。

悩みや困りごとを話せる人が「いない」と回答したのは、小学生の10.1%、中学生の9.2%であった。また、「話や相談はしたくない」と回答したのは、小学生の10.2%、中学生の9.1%であった。



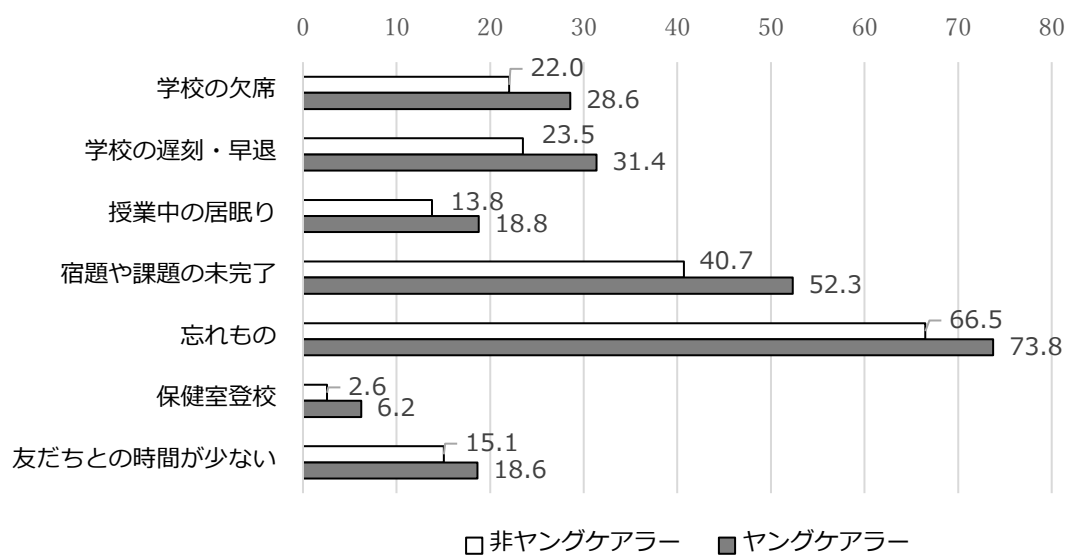
第 III 章 主な項目同士の関連

1. ヤングケアラー

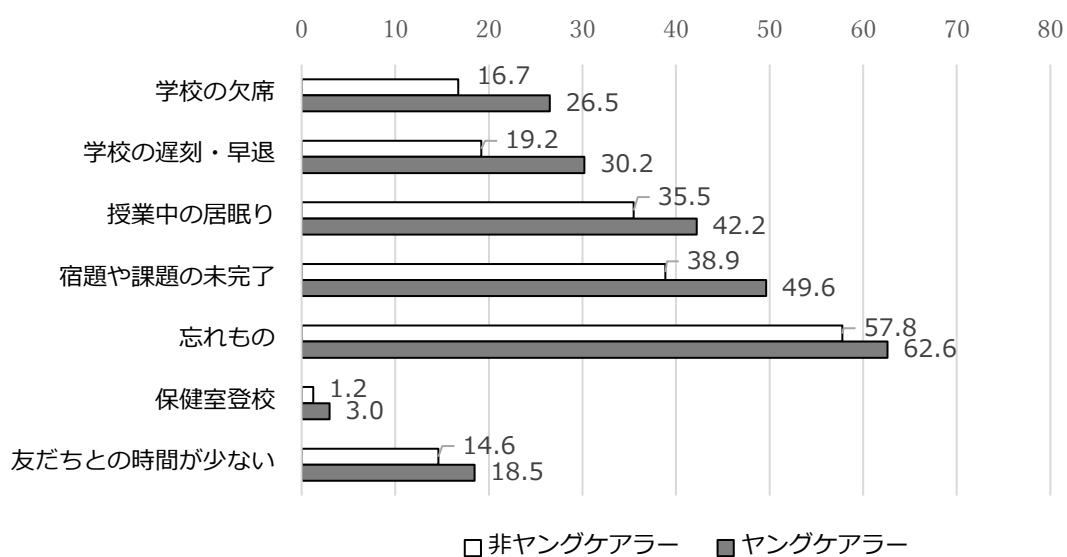
(1) ふだんの生活の様子

非ヤングケアラー（家族の世話で該当するものなし）とヤングケアラー（1つ以上該当）のそれぞれについて、生活の様子に関する各項目が「たまにあった」または「よくあった」児童・生徒の割合を示す。

《小学生》



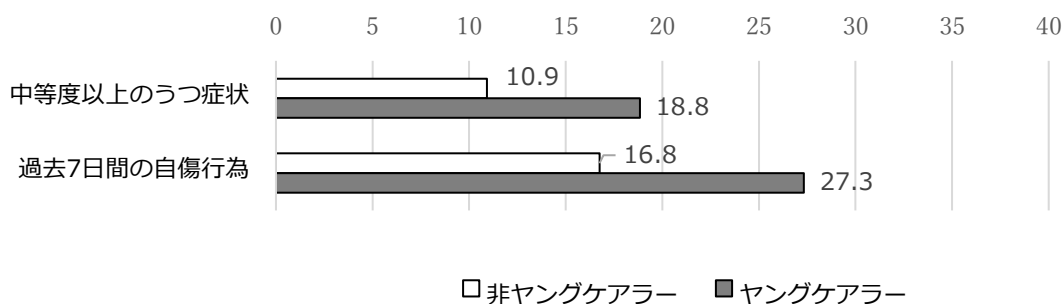
《中学生》



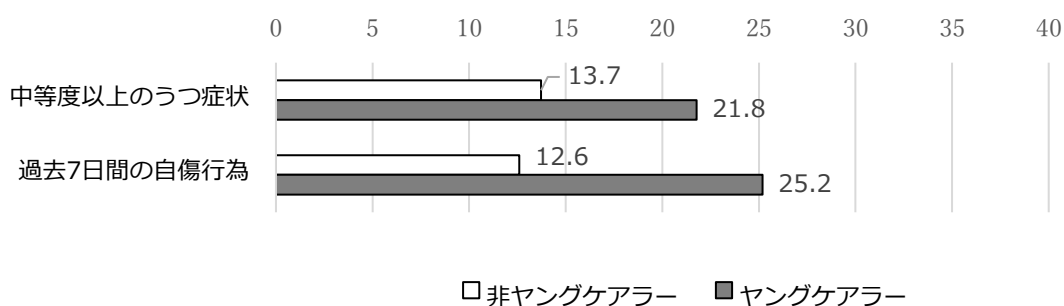
(2) 抑うつ症状・自傷行為

非ヤングケアラーとヤングケアラーについて、PHQ-A 尺度で中等度以上の抑うつ症状に該当した児童・生徒、および過去 7 日間に自傷行為をしたと回答した児童・生徒の割合を示す。

《小学生》



《中学生》



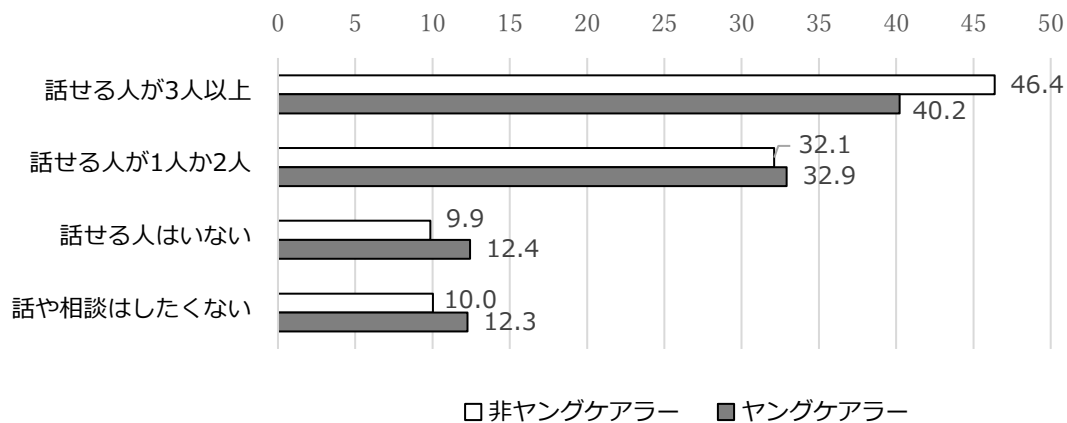
小学生では、非ヤングケアラーのうち中等度以上のうつ症状を有する者は 10.9%であったのに対し、ヤングケアラーでは 18.8%であった。過去 7 日間の自傷行為に該当する者は、非ヤングケアラーでは 16.8%であったのに対し、ヤングケアラーでは 27.3%であった。

中学生では、非ヤングケアラーのうち中等度以上のうつ症状を有する者が 13.7%であったのに対し、ヤングケアラーでは 21.8%であった。自傷行為に該当する者は、非ヤングケアラーでは 12.6%であったのに対し、ヤングケアラーでは 25.2%であった。

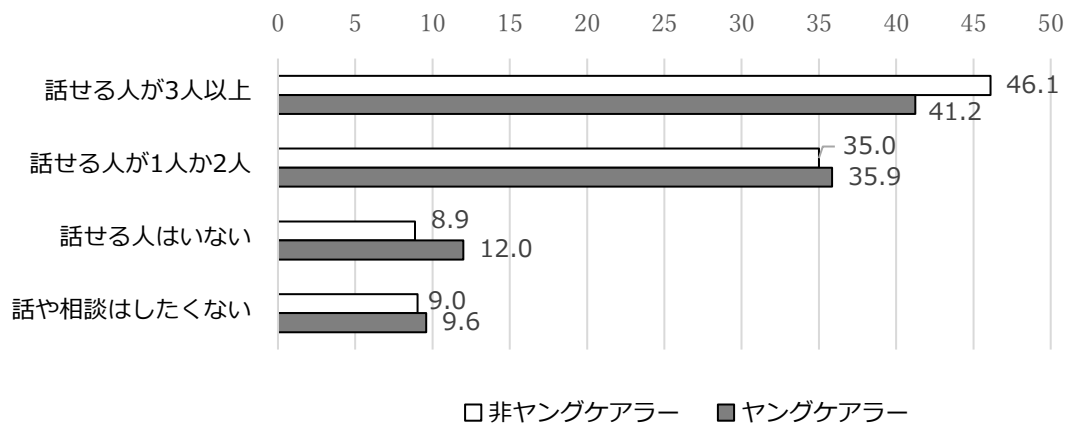
(3) 悩みや困りごとを話せる人

非ヤングケアラーとヤングケアラーについて、悩みや困りごとを話せる人の回答結果を示す。

《小学生》



《中学生》

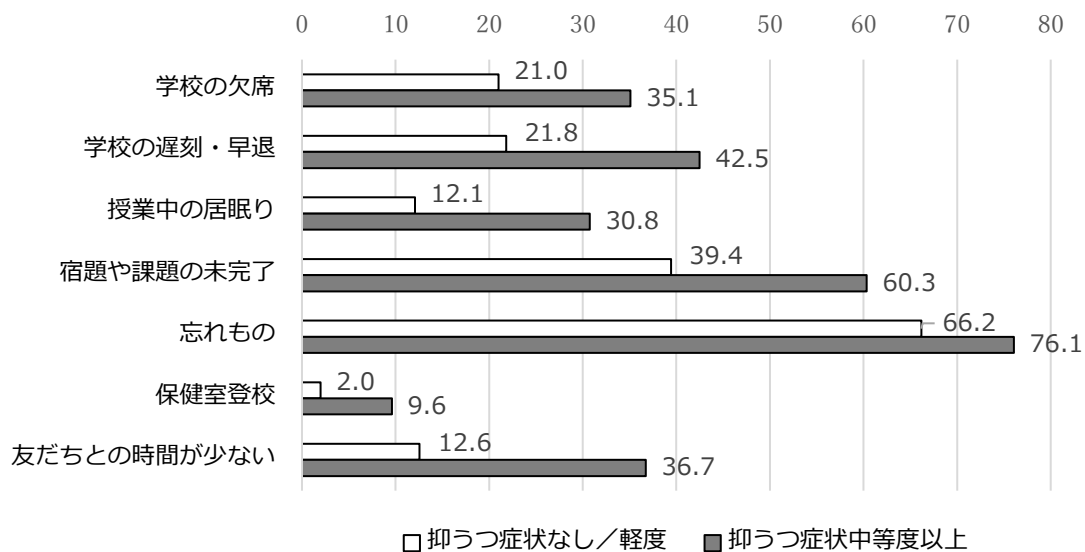


2. 抑うつ症状

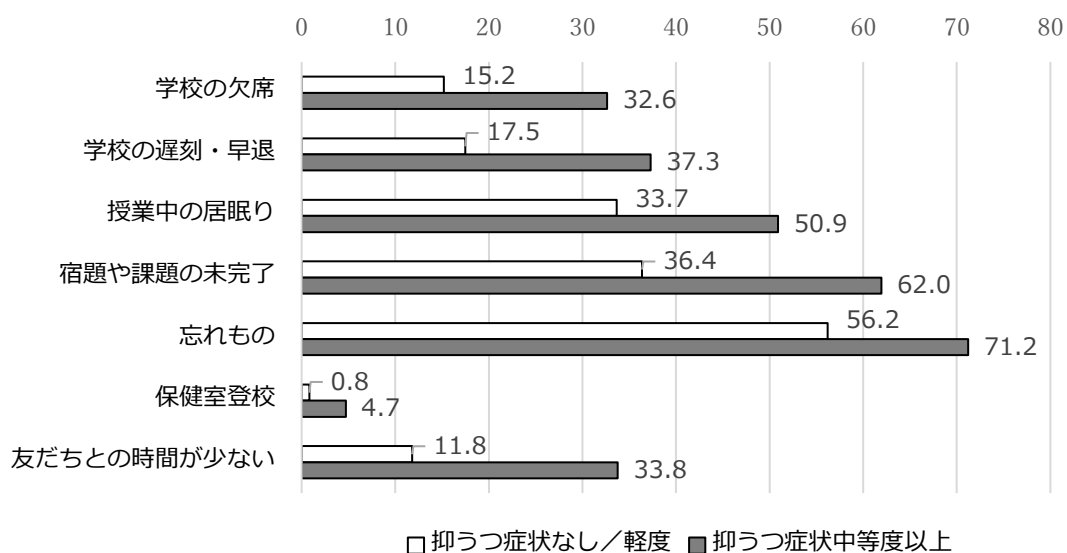
(1) ふだんの生活の様子

抑うつ症状なし／軽度の児童・生徒と、中等度以上の抑うつ症状を有する児童・生徒について、生活の様子に関する各項目が「たまにあった」または「よくあった」割合を示す。

《小学生》



《中学生》

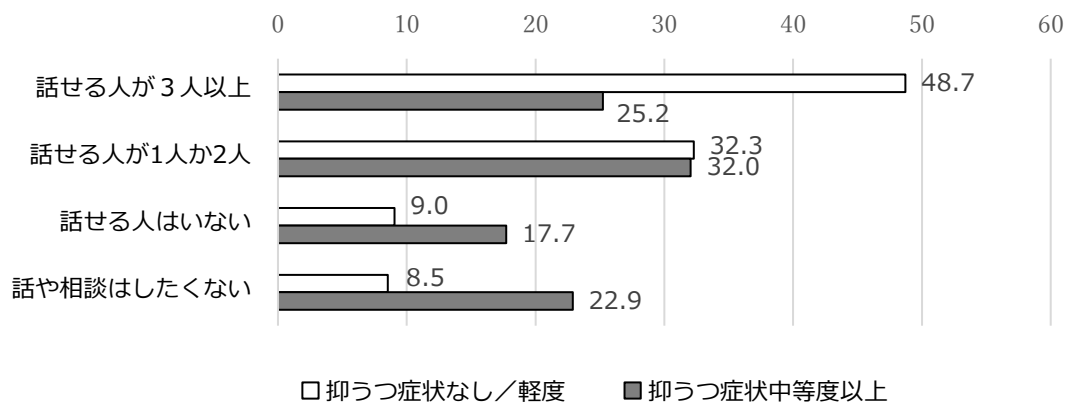


中等度以上の抑うつ症状を有する児童・生徒はそうではない児童・生徒と比較して、すべての項目について該当者の割合が高くなっていた。

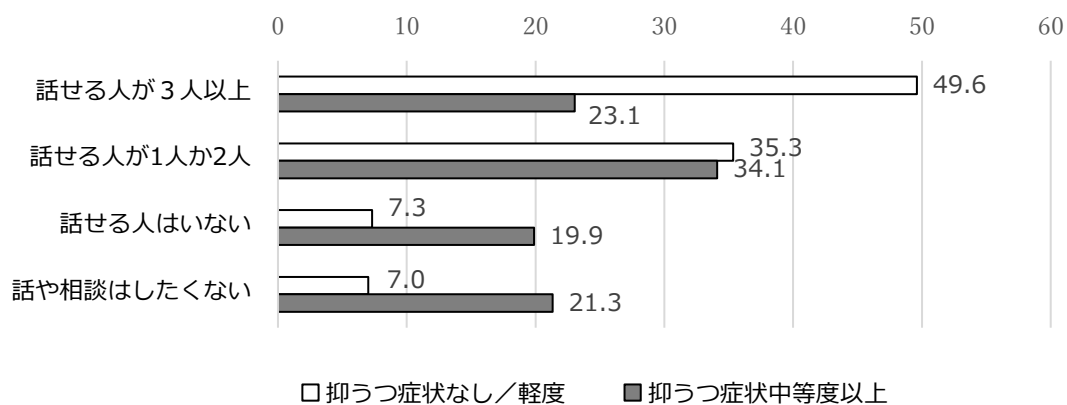
(2) 悩みや困りごとを話せる人

抑うつ症状なし／軽度の児童・生徒と、中等度以上の抑うつ症状を有する児童・生徒について、悩みや困りごとを話せる人の回答結果を示す。

《小学生》



《中学生》



中等度以上の抑うつ症状を有する児童・生徒はそうではない児童・生徒と比較して、悩みや困りごとを話せる人が「3人以上いる」者が少なく、また、「話せる人はいない」「話や相談をしたくない」者が多かった。

(3) 重度抑うつ症状、希死・自傷念慮、自傷行為の関連

全回答者のうち、PHQ-A 尺度で重度の抑うつ症状と判定されたのは 283 名、PHQ-A の 9 項目「死んだ方がいい、または自分を何らかの方法で傷つけようと思ったことがある」が「ほとんど毎日」あてはまると回答したのは 413 名、「実際に、自分の体を傷つけたことがある（髪の毛を抜く、自分をたたくなど）」が「ほとんど毎日」あてはまると回答したのは 355 名で、上記の少なくとも 1 つ以上にあてはまる児童・生徒は 628 名であった。三条件の重なりの様子を下図に示す。

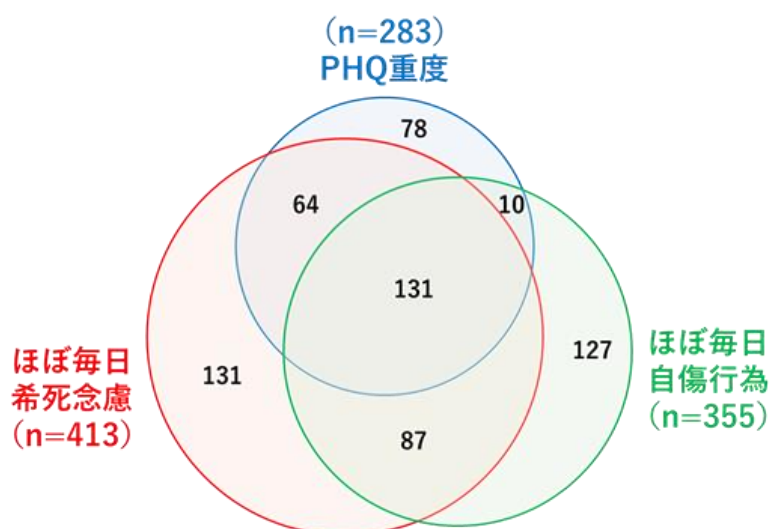


図 II-5-1 重度抑うつ症状、希死・自傷願望、自傷行為の関連

(※円の重なり部分の面積は人数を正確には反映していない)

希死・自傷念慮が「ほぼ毎日ある」と回答した児童・生徒の約半数は、実際に自傷行為についても「ほぼ毎日ある」と回答していた。

いたばし子どもアンケート

このアンケートは、みなさんの生活と健康についてたずねるもので、板橋区教育委員会が国立成育医療研究センターの協力を得て実施しています。

みなさんをサポートする方法を考えていくためのアンケートですので、ぜひご協力を
おねがいします。

- * 板橋区立小中学校の小学5年生～中学3年生にご協力をおねがいしています。
- * アンケートは（この表紙を除いて）全部で3ページあります。
- * アンケートに答えるのにかかる時間は、およそ10～15分です。
- * 答えがはっきりわかるように、丸（○）や子エック（回）をつけてください。
- * 答え終わったら、封筒に入れて封をしてから提出してください。
- * 関係のない書きこみをしたり、紙をよごしたり、折ったりはしないでください。
- * アンケート本体にも、封筒にも、名前や出席番号などは書かないでください。

このアンケートはテストではないので、正しい答えはありません。成績とも関係ありません。答えの内容によって、あなたに悪いことがおきることはありません。

あなたがどのように答えたかを、学校の先生や友だち・保護者はもちろん、だれかに知られるということはありません。安心して答えてください。

答えたくない質問はとばしてもかまいません。その場合でも必ず提出してください。

次のページから質問が始まりますので、回答をはじめてください。



問1. あなたの学年と性別に○をつけてください。

学年： 小5 ・ 小6 ・ 中1 ・ 中2 ・ 中3

性別： 男 ・ 女 ・ ひみつ

問2. あなたがふだんいっしょに住んでいる人を、すべて選び、番号に○をつけてください。
両親が働いているかどうか、祖父母やきょうだいの人数などもおしえてください。
（※専業主夫や仕事をお休みしている場合は「働いていない」を選んでください。）

1 母親 → (母親がいる場合： 働いている ・ 働いていない)

2 父親 → (父親がいる場合： 働いている ・ 働いていない)

3 祖父母 → (祖父母がいる場合： _____ 人)

4 きょうだい → (いる場合： 年上 _____ 人 ・ 年下 _____ 人)

5 その他の人 → (いる場合： 大人 _____ 人 ・ 子ども _____ 人)

問3. あなたの家のくらしについて、あなたの感じ方にもっとも近いものに○をつけてください。

かなり質いい ・ すこし質いい ・ ふつう ・ すこし裕福 ・ かなり裕福

問4. 次の6項目のうち、あなたにあてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。

(©一般社団法人日本ケアラー連盟/illustration:izumi Shiga より一部抜粋)

<p>1 障がいや病気の ある家族に 代わり、買い物・料理・そう じ・洗濯などの家事をしている</p>	<p>2 家族に代わり、幼いきょうだいの世話をしている</p>	<p>3 障がいや病気の ある家族の 世話をしている</p>



4
家計を支えるために労働をして、肩がいやや筋力のある家族を助けている



5
アルコール・薬物・ギャンブル問題を抱える家族に対応している



6
日本語が第一言語でない家族や障がいのある家族のために通訳をしている

問5. この1ヶ月間、次のような問題はあなたにどのくらいあてはまりますか。

それぞれの項目について、もっともあてはまる場所にチェック☑をつけてください。	ほとんど なかった	たまに あった	よく あった	わからない 答えたくない
学校を欠席した	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
学校を遅刻した、または早退した	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
授業中に居眠りをした	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
宿題や課題ができなかった、または終わらなかった	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
忘れものをした	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
学校には行ったが、ほとんど保健室ですごした	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
友だちと遊んだり、話したりする時間が少なかった	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

問6. あなたは、今のクラスで、誰かがいじめられているのを見たり聞いたりした、あるいは自分がいじめにあっていると感じたことはありますか。

ある ・ ない ・ 答えたくない

問7. あなたには、悩みや困りごとについて、話したり相談したりできる人がいますか。

いない ・ 1人か2人いる ・ 3人以上いる ・ 話や相談はしたくない

次のページにも質問があります →

問8. この7日間、次のような問題にどのくらい頻繁に悩まされていますか。

それぞれの項目について、もっともあてはまる場所にチェック☑をつけてください。

	まったくない	数日	半分以上	ほとんど毎日
気分が落ちこむ、ゆううつになる、いらいらする、または絶望的な気持ちになる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
物ごとに対して、ほとんど興味がない、または楽しめない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
なつきが悪い、途中で目がさめる、または逆に眠りすぎる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
あまり食欲がない、体重がへる、または食べすぎる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
疲れた感じがする、または気力ががない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
自分はダメな人間または失敗者だと感じる、または自分自身あるいは家族がっかりさせていると感じる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
学校の勉強、読書、またはテレビを見ることなどに集中するのが難しい	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
他人が気づくくらいに動きや話し方が遅くなる、あるいはこれと反対に、それぞれしたり、落ち着かず、普段よりも動き回ることがある	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
死んだ方がいい、または自分を何らかの方法で傷つけようと思ったことがある	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
実際に、自分の体を傷つけたことがある(髪の毛を抜く、自分をたたくなど)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
家族との関係について、悩んだり固ったりしている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
友だちとの関係について、悩んだり固ったりしている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
勉強や成績について、悩んだり固ったりしている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

ご協力ありがとうございました。答え終わったアンケートは、封筒に入れて提出してください。